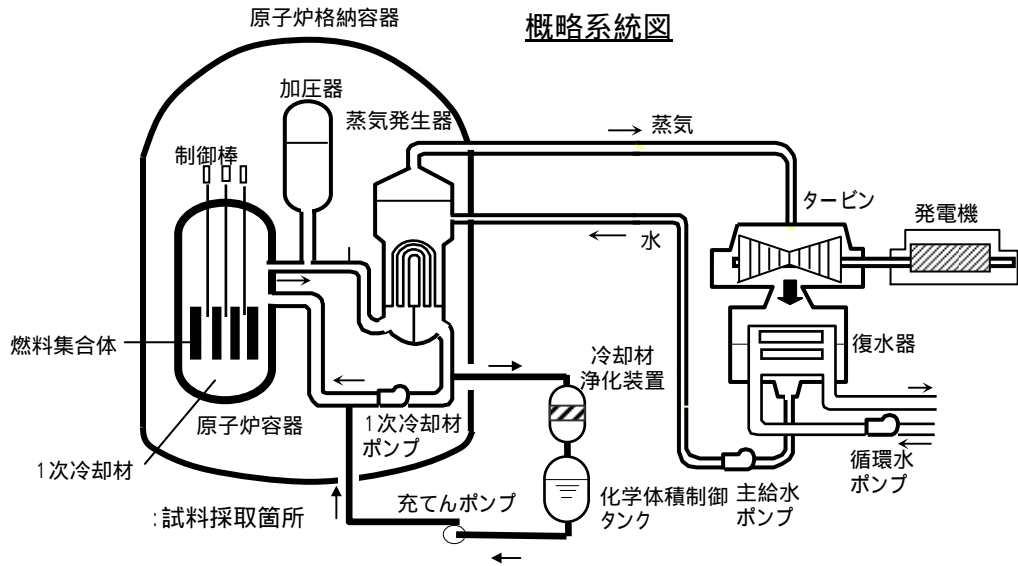
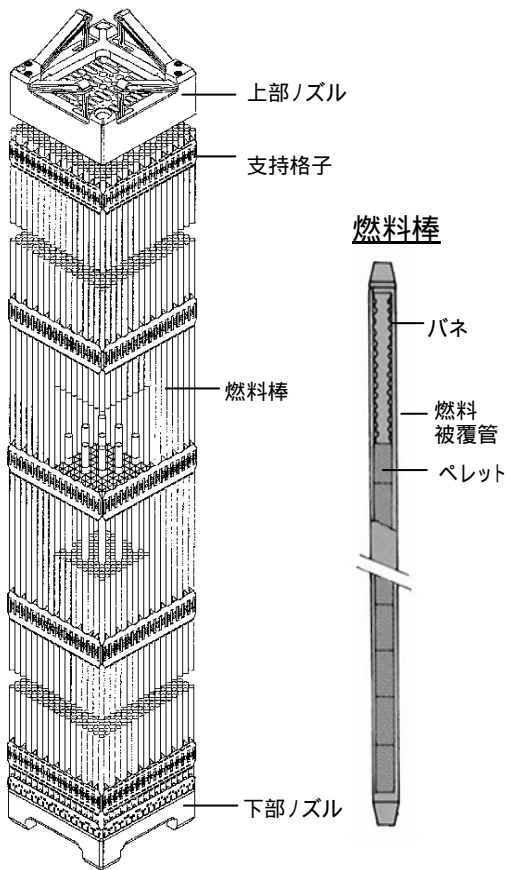


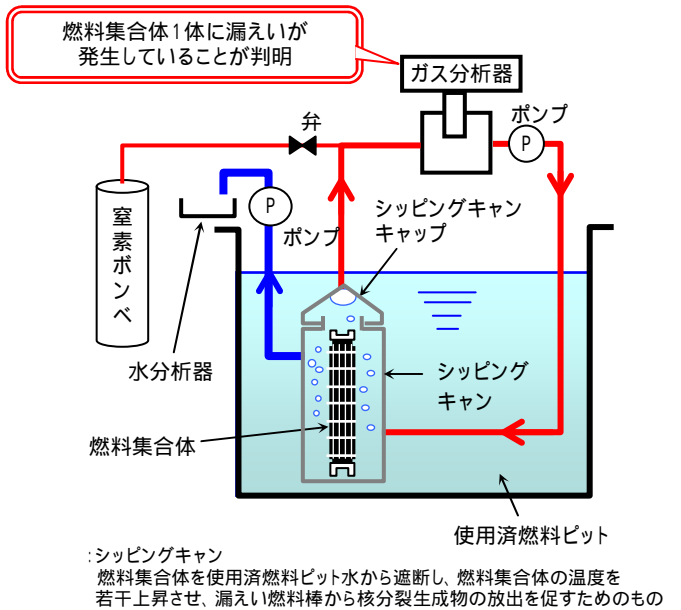
大飯発電所4号機 燃料集合体漏えい検査結果について



燃料集合体概略図

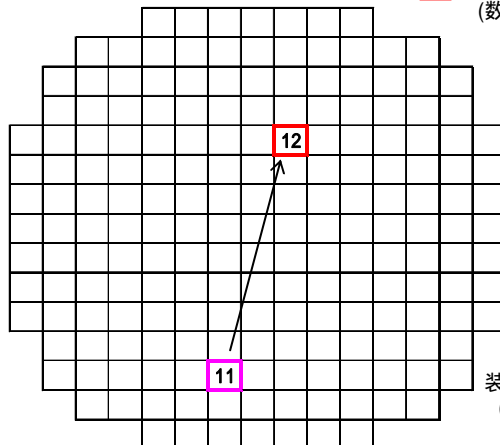


燃料集合体 SHIPPING 検査概要



漏えい燃料集合体が原子炉内で
装荷されていた位置

□ : 漏えい燃料集合体
(数字: 運転サイクル数)



装荷体数: 193体
(内訳)
・55,000MWd/t: 164体
・48,000MWd/t: 29体

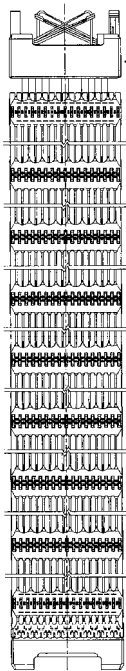
【燃料集合体の仕様】(55,000MWd/tの場合)

- 燃料タイプ : 17 × 17型
- 全長 : 約 4m
- 全幅 : 約 20cm
- 支持格子数 : 9個
- 燃料被覆管材質 : ジルコニウム基合金
- 燃料被覆管外径 : 約 10mm
- 燃料被覆管肉厚 : 約 0.6mm
- 燃料棒の本数 : 264本
- 制御棒案内管 : 24本

漏えい燃料集合体および燃料棒の調査結果

外觀目視点検結果

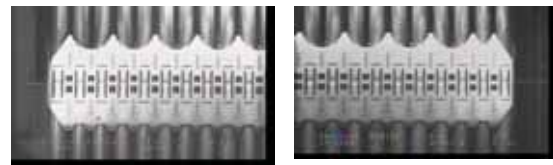
異常は認められなかった



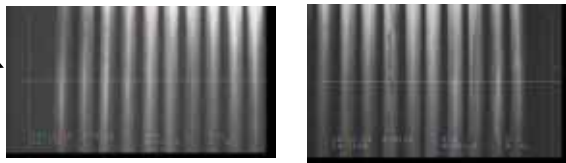
上部ノズル



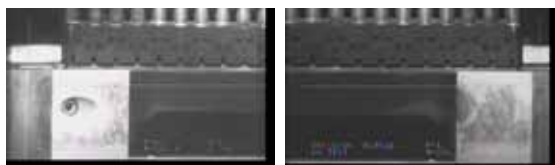
第3支持格子



燃料棒 (第3 ~ 第4支持格子間)

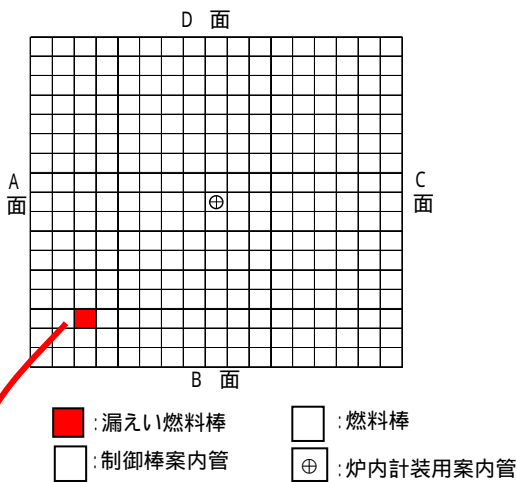


下部ノズル

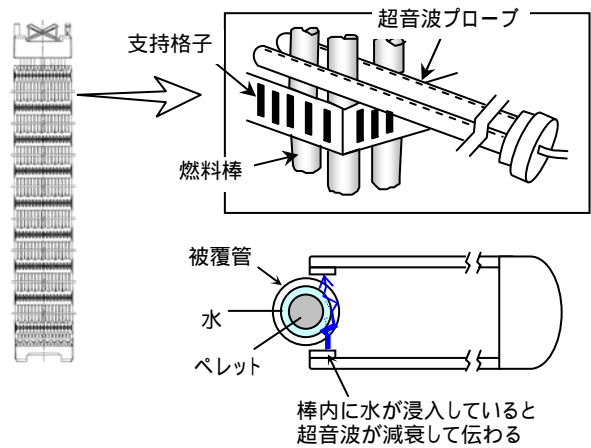


超音波による調査結果

漏えい燃料棒1本を確認



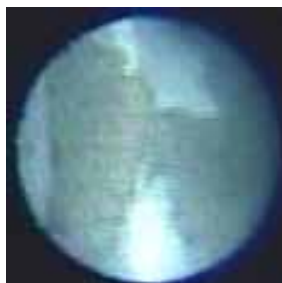
超音波による漏えい燃料棒調査の原理



ファイバースコープ外面目視点検結果

燃料棒表面に通常見られる腐食生成物の付着がみられたが、傷や異物等は認められなかった

第3 ~ 4支持格子間の燃料棒表面(C面)



第8 ~ 9支持格子間の燃料棒表面(D面)

